

2月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【ありがとうの気持ちを伝えよう】

体育科では、オリンピック授業があり、柔道の北京オリンピック代表の佐藤愛子さんが来てくださいました。佐藤さんは、授業の中で、「頑張ること」「諦めないこと」「感謝すること」が大切であると教えてくれました。お礼のお手紙では、佐藤さんが教えてくれたことを振り返りながら、柔道の楽しさや、学校生活で生かしていきたいことを気持ちを込めて書いていました。

生活科「おかしあそび」の学習では、様々な昔遊びの道具に挑戦しました。授業だけでなく、休み時間にも友達と教え合う中で「ありがとう。」の言葉がよく聞かれました。覚えた技を友達に披露し、「やったね。」「すごい。」と声を掛け合い、仲良く関わっている姿も見られました。

また、2月29日（木）に行われた6年生を送る会に向けて、学年で力を合わせて練習もしてきました。1学期の4月から、1年生をサポートしてくれていたお兄さんお姉さんが卒業します。本番では、今までたくさんお世話になった6年生に、感謝の気持ちが伝わるように発表することができました。



2月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【 心豊かで思いやりのある子 】

先日の学校公開・道徳授業地区公開講座では、たくさんの方にご参観いただきありがとうございました。2年生では、子どもたちが自分には多くの人に支えられ、守られていることを実感し、その命を大切にしていこうと思えるように、「たんじょう日」という教材を使って授業を行いました。ふりかえりを見てみると「自分の命が今あることを誇らしく思う」「自分の命は周りの人にとって宝物なんだと気付いた」と、自分の命の大切さについて考えを深められた様子でした。

また、6年生を送る会に向けて、学年で力を合わせた練習もしてきました。2年生と6年生の交流は、たてわり班活動が中心でしたが、運動会の係や委員会など、様々な場面で学校を支えてくれていたことを共有してから、プレゼント作りや発表練習に取り組みました。感謝の気持ちをこめて丁寧にメモ帳を制作したり、精いっぱい大きな声で合奏やメッセージを発表したりすることができました。まだ先のことになりますが、感謝される6年生になれるよう、これからも様々な経験を積んで成長し続けてほしいと思います。



2月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【思いやりの心は誰かに届く】

「思いやりの心をもった3年生に」日々の授業や生活、行事を通して「思いやりの心」を高めてきました。

2月9日(金)に、道徳授業地区公開講座が行われました。3年生は「いただいたいのち」という教材を通して「なぜ命は大切なのか」や「自分のことを大切に思ってくれている人がいる」ことについて考えました。「相手を思う気持ちは、命と同じくらい大切」「大切にしてもらっている気持ちは忘れちゃいけない」などと自分たちの心の中にある思いを真剣に語り合いました。「その心は誰かに届く」という言葉が姿として現れているようで、真剣に話をする仲間の話をまた真剣なまなざしで見つめる様子が見られました。

2月29日の6年生を送る会に向けての練習や3月に行われるあおぞら学級との「交流会」に向けて懸命に準備を進めています。「6年生にこれまでの感謝を伝えたい」「あおぞら学級のみんなともっと仲良くなるために楽しめる遊びは何かな」と相手の立場に立って活動を考えることができました。

この1年の様々な経験を通して、3年生の子ども達は、相手のことを思いやりながら考えたり、行動したりするなかで相手を思う温かい気持ちが育ってきました。4月からはいよいよ上学年の仲間入りです。今以上に、下学年にも、仲間にも思いやりの気持ちをもって接することができる子どもたちに成長してくれることを願っています。



4年生

2月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【6年生を送る会】

～今までの感謝の気持ちを伝えよう～

本日の3時間目、6年生を送る会が行われました。4年生は、6年生にとって思い出の歌である

「Oh Happy Day」を手拍子とともに歌い、発表しました。練習では、発表を通して「6年生にどんな気持ちを届けたい？」と問いかけると「今までありがとうという気持ち」や「中学校頑張っってねという気持ち」などの意見が多く出てきました。休み時間にも歌や呼び掛けの練習をしてきた実行委員を中心に、4年生らしく元気に送り出せるよう練習を重ね、6年生への感謝や励ましの気持ちが伝わる会となりました。

また、4年生にとって6年生を送り出すことは、高学年への一歩を踏み出すことにも繋がります。この会を通して、次は学校を支える5年生になるという自覚をもち、ラストの3月も着実に成長できる1か月にしていきたいと思います。



5年生

2月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【6年生に向けて、Challenge・協力・感謝】

5年生としての学校生活も残り1か月となりました。この時期になると、6年生になることを意識した学習や行事がいくつもあります。総合的な学習の時間では、「新1年生にできること」をテーマに、学校への不安を少しでも取り除いてあげようと、学校紹介のスライドや映像づくりに「Challenge」しました。1年生の立場になって考え、分かりやすいスライドや映像に仕上げました。

先日は、最後のたてわり班活動がありました。今まで6年生に企画や司会進行などをしてもらっていましたが、最終回なので5年生が中心となり、協力し合って企画や司会進行を行いました。みんなが楽しめるように話し合い計画を立てましたが、6年生からしっかりとバトンを受け取れたでしょうか？

そして、今日は6年生を送る会がありました。今までの感謝とこれからの抱負が6年生に伝わるように気持ちを込めて言葉や発表内容を考えました。相手意識をもって取り組んだ5年生の思いが周囲の人たちに伝わるとよいです。



2月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【私たちが育った立川市を盛り上げるために】

立川市民科で、「立川市の魅力再発見！」の学習をしました。この学習は、立川市の魅力である「にぎわいと自然が融合した街」であることを学習したうえで、さらなる調べ学習を通して、魅力を再発見して自分たちに何ができるのか考え取り組んでいく学習です。学習の中で、立川市農研会の方々が「いちご」の栽培をしていることや、立川市獅子舞芸能保存会の方が獅子舞の伝統を残すために活動していること、立飛ホールディングスがスポーツを中心にして立川市を盛り上げていることを理解し、自分たちも何ができるのか考えました。そして、立川ダイスの協力のもと、班に分かれて「CM」「ポスター」「チラシ」を制作しました。より良いものを作るために友達と相談して取り組む過程では、友達と意見が合わなかった班もあったようですが、お互いを尊重して話し合いを行い、素敵な作品を作ることができました。お互いを尊重して話し合いを行ったり、アドバイスをしたりしている姿は、さすが6年生であると感じました。



2月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【6年生を送る会に向けて】

6年生を送る会が、29日（木）に迫っています。1～5年生は、6年生に対するこれまでの感謝の思いを歌やダンス等で表現します。「6年生に喜んでもらえるように」という気持ちを大切に、練習に励んでいます。また、6年生にとっては残り数少ない学校行事となりました。6年間の思いを胸に、あおぞら、そして交流学級の児童と共に練習しています。たくさんの感謝の気持ちにあふれた、6年生を送る会になりそうです。

